

2018年6月22日
小児がん拠点病院連絡協議会

第8回小児がん拠点病院連絡協議会 近畿ブロックの取り組み

近畿ブロック小児がん拠点病院連絡協議会

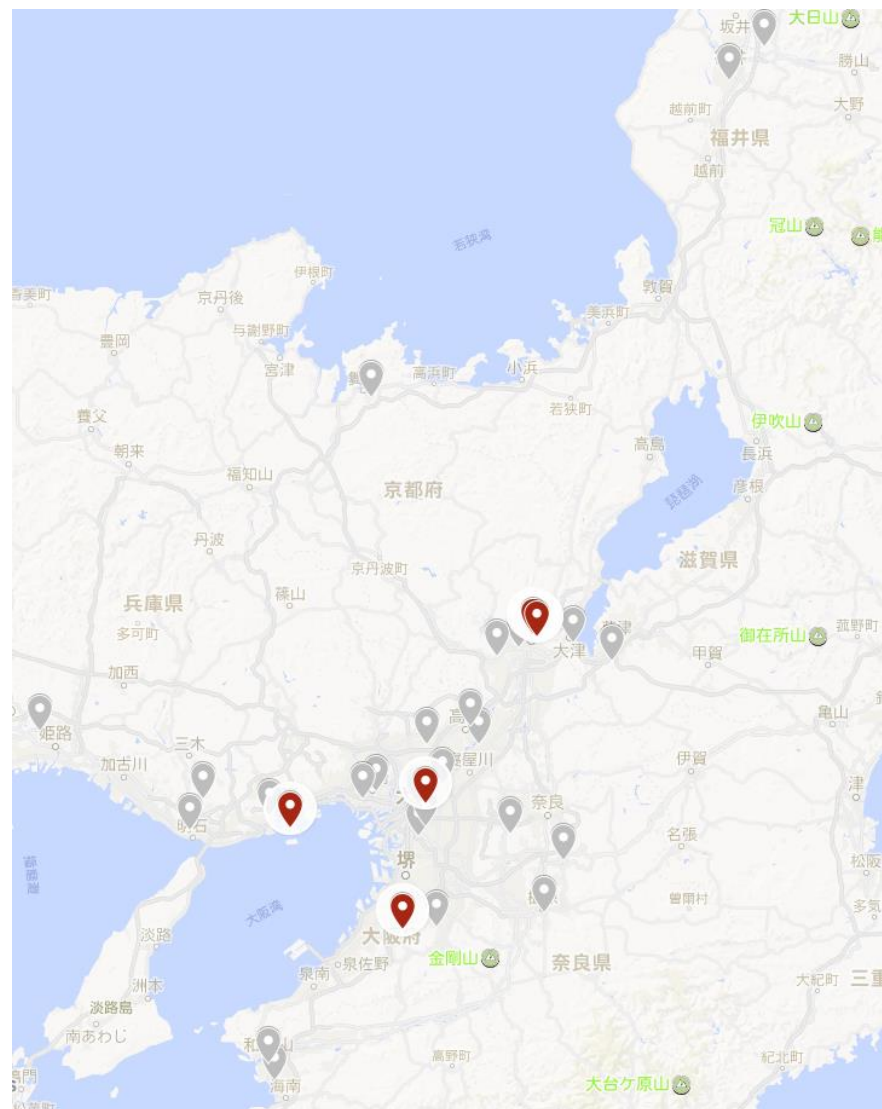
近畿地域ブロック連絡協議会の構成

小児がん拠点病院

京都大学医学部附属病院
京都府立医科大学附属病院
大阪市立総合医療センター
大阪母子総合医療センター
兵庫県立こども病院

小児がん診療病院

ブロック内に28施設



近畿ブロック小児がん拠点病院の連携状況(1)

日時	概要
平成29年10月7日 (大阪グランフロント大阪)	第5回近畿ブロック小児がん診療病院連絡会 第11回近畿ブロック小児がん拠点病院協議会 小児がん講演会と同時開催 『思春期の子どもたちの意思決定を支えるために私たちにできること』白石恵子先生(九州がんセンター) 各小児がん拠点病院における新たな取り組み
平成30年2月17日 (大阪大学銀杏会館)	第12回近畿ブロック小児がん拠点病院協議会 第40回近畿小児がん研究会と同時開催 各拠点病院における、診療状況の報告 各小児がん拠点病院における新たな取り組み
平成30年10月6日予定 (大阪母子医療センター)	第6回近畿ブロック診療病院連絡会 第13回近畿ブロック小児がん拠点病院協議会 小児がん講演会:講師滝田順子先生
平成31年2月16日予定 (京都大学)	第41回近畿小児血液・がん研究会 第14回近畿ブロック小児がん拠点病院協議会

近畿ブロック小児がん拠点病院の連携状況(2)

小児がん拠点病院

京都大学医学部附属病院
京都府立医科大学附属病院
大阪市立総合医療センター
大阪母子医療センター
兵庫県立こども病院

小児がん診療病院

福井県	福井大学医学部附属病院	奈良県	天理よろづ相談所病院
	福井赤十字病院		近畿大学医学部奈良病院
滋賀県	大津赤十字病院		奈良県立医科大学附属病院
	近江八幡総合医療センター	和歌山県	和歌山県立医科大学附属病院
	滋賀医科大学附属病院		日本赤十字社和歌山医療センター
京都府	京都桂病院	兵庫県	国立病院機構舞鶴医療センター
	京都第一赤十字病院		兵庫県立尼崎総合医療センター
	京都市立病院		兵庫医科大学病院
大阪府	関西医科大学附属枚方病院		神戸大学医学部附属病院
	大阪医科大学附属病院		西神戸医療センター
	大阪大学医学部附属病院		明石市民病院
	大阪赤十字病院		姫路赤十字病院
	北野病院		
	松下記念病院		
	大阪市立大学医学部附属病院		
	近畿大学医学部附属病院		

近畿ブロック小児がん拠点病院の連携状況 —近畿ブロック小児がん拠点病院看護連絡会—

目標:ブロック内の小児がん看護の質の向上、連携強化(H29年度は京都大学が担当)

(1) 定期会議

- ①平成29年5月13日(土)14:00~15:30 参加:5施設16名
- ②平成29年10月7日(土)15:30~17:00 参加:5施設13名
- ③平成30年2月17日(土)16:40~17:50 参加:5施設15名

(2) 小児がん看護研修会の共催

平成30年1月13日(土)近畿ブロック小児がん拠点病院看護連絡会主催 小児がん看護研修

会場:京都大学医学部附属病院 杉浦ホール

参加者:33名(近畿ブロックの診療病院・訪問看護ステーション・診療所)

(3) その他:小児がん看護学会シンポジウムでの活動紹介

看護シンポジウム 11月11日(土) 10:00~11:50

「そのケア、どうしてる? 困ったときの看護ネットワーク ~ケアの些細な疑問を解決し、学び支え合う~」

テーマ:近畿ブロックの取り組みと近隣のブロックとの連携

近畿ブロック小児がん拠点病院の連携状況 —近畿小児血液・がん研究会看護部門—

目的: 小児血液・がんの子どもとその家族の生活の質の向上と、臨床的研究や知見・情報の交換、討議を通じて看護実践および研究の発展と向上に寄与すること

(1) 定例会

2か月に1回開催、近畿圏の16施設(拠点5施設含む)が参加

(2) 講演会の主催(H29年度の企画・運営担当は兵庫県立こども病院)

第11回近畿小児血液・がん研究会看護部門講演会

平成29年7月2日(日)14:00～16:00 会場:兵庫県立こども病院 講堂

テーマ:小児がんと闘う子どもたちのからだところの苦痛を和らげるケア

講師:聖路加国際病院 小児看護専門看護師 平田 美佳 先生

参加者:89名(16施設)

近畿ブロック小児がん拠点病院の連携状況 —相談支援部会—

(1) 定期会議

年2回 ①6月12日(月)②12月15日(金)

(2) 講演会主催(H29年度の企画担当は京都大学)

近畿ブロック小児がん拠点病院相談支援部会主催 小児がん相談員研修

平成29年11月4日(土)13:30～16:30 会場:京都大学医学部附属病院 A会議室

テーマ:「成人移行期の社会資源の活用」～障害年金の基礎知識～

講師:社労保険労務士 船田 光朗 先生

参加者:26名(6施設)

近畿ブロックにおけるがん・生殖医療ネットワークの 取り組み

2015年4月～滋賀医科大学女性診療科にがん妊孕外来を設置
(滋賀がん・生殖医療ネットワークの設立)

2016年1月～兵庫がん生殖医療ネットワークの設立
(事務局： 兵庫医大産婦人科)

2017年6月～京都府がん・生殖医療ネットワークKOF-net設立
京都府がん患者生殖機能温存療法助成事業

近畿ブロックにおけるがん・生殖医療ネットワークの取り組み —滋賀モデルから兵庫モデル・京都モデルへ—



KOF-net 事務局

京大病院がんセンター

お問合せ先 

HOME

KOF-netについて

患者の皆様へ

医療関係者へ

関連施設一覧

お問い合わせ

がん治療の後につながる希望について
知ってほしい



KOF-net とは

化学療法および放射線療法などの医療の進歩によって、以前は治療が困難とされていた病気でも治療が見込めるようになりました。一方で、このような集学的治療の内容によっては卵巣・精巣に強度のダメージが加わり、生殖機能が廃絶する可能性があります。しかし生殖医療の技術を用いて、病気を乗り越えた未来に妊娠・出産できる力、妊孕能(にんようのう)を温存する目的で卵子や精子、卵巣を凍結保存しておく方法があります。KOF-netは京都府内におけるがん治療と生殖医療をそれぞれ担当する専門医師達が円滑に連携し、妊孕能の温存を望む患者の方々に適切な情報・医療を提供することを目的に2017年より活動を開始しました。

近畿ブロックにおける小児がん拠点病院連携のまとめ

- 近畿ブロック小児がん拠点病院協議会・小児がん診療病院連絡会を開催して診療連携を行った。
- 女性患者に対する妊孕性温存の取り組み・情報交換が積極的に行われ、各地区でのがん・生殖医療ネットワークの加速化に貢献した。
- Webを用いた診療連携が遠隔地との間で盛んに行われ、ブロックを超えた拠点病院連携も活発化した。
- 多職種、患者家族向けの研修会が拠点病院を中心に行われ、情報発信がなされた。